

※金額は、万円未満切捨

37億2,133万円

予算決
算可

国民健康保険 特別会計

医療費は依然として増加傾向

予算の
あらまし

国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤として、地域医療の確保と住民の健康保持増進に重要な役割を果たしています。

しかし、中高年齢者を多く抱え、医療費は依然として増加する傾向にある一方、経済不況の中、保険税収入の伸び悩みなどによる国保財政の厳しさがうかがえる予算と言えます。

2億9,930万円

予算決
算可

後期高齢者医療 特別会計

保険料は引き下げの方向に

予算の
あらまし

昨年の政権交代によって後期高齢者医療制度が廃止される方向となり、高齢者医療制度改革会議で見直しを進めているという状況ですが、制度自体は当面存続されるということです。なお、平成22年度の保険料について、県では1人当たり3・5%の引き下げになります。

反対
討論

1回に払う額が5,000円もアップ

(田母神節子議員)

所得300万円の夫婦と子ども2人で31万円の保険料は所得の1割以上で「高い」です。また、支払い方法も12回から8回になったため、1回に支払う額が5,000円も高くなり、払いにくくなりました。払えない人から保険証を取り上げることが、医者にかかるなということ。誰もが安心して医者にかかれる皆保険制度としての国民健康保険です。本来の制度の役割ではありません。

賛成
討論

衆院不採択で、1日も早い制度廃止を望む

(田母神節子議員)

全国では8%以上の値上げがされた中、県の後期高齢者医療広域連合会議は2008、2009年度で89億円の黒字となり、2010年度は値下げを実施しました。保険料が高かったこと、65歳〜74歳までの障害者の加入が少なかったこと等が要因です。もともと高齢者をひとくりにした、世界にも例のない制度です。国会でも参院では不採択となっており、衆院での不採択で1日も早い廃止を。

賛成
討論

レセプト点検等による的確な予算措置

(佐藤理美議員)

今日の厳しい経済不況の中、特定健診などの保険事業の実施やレセプト点検等による医療費の適正化など、効果的に予算措置されています。税負担の公平性を確保するため、本年度も保険税の収納率向上対策の強化、健全な国民健康保険の運営が推進されるよう要望します。

賛成
討論

平成25年度には新たな高齢者医療制度創設へ

(石井康二議員)

後期高齢者医療制度は、医療制度改革により平成20年度に創設され、これまで保険料の追加軽減や年金引きと口座振替の選択制の導入など、適切な対応がされてきました。昨年の政権交代により、制度は廃止される方向となり、政府は現在、平成25年度に新たな高齢者医療制度を創設すべく見直しを進めています。町には今後も加入者への適切な対応をお願いします。

533万円

予算決
算可

老人保健 特別会計

最終年度、月遅れ請求に伴う予算措置

予算の
あらまし

老人保健は、平成22年度をもって法改正後3年間の経過措置が終わります。その最終年度として、月遅れ請求に伴う支払いに必要な予算措置となっています。

3億3,201万円

予算決
算可

農業集落排水事業 特別会計

前年度比16・5%の増

予算の
あらまし

前年度比16・5%の増額となっています。これは、折原・立原・秋山地区の管路整備工事を進めるとともに、折原地区の排水処理施設の建設に着手することによるもので、供用開始している用土・今市の集落排水の適正管理とあわせ、農村生活環境の改善と水質保全を図っていくものです。

賛成
討論

引き続き管路施設工事の推進を

(稲山良文議員)

折原地区については、平成24年度の供用開始に向けて、引き続き管路施設工事を推進するとともに、処理施設建設工事にかかる所要額が予算計上されました。この事業推進は評価できます。執行のさらなる努力をお願いいたします。



①



②



③

3月議会2日目の3/3に、議員全員で6月開設予定の男衾コミュニティセンターを視察しました。建物全体に県産材^{県産材}が多く使われています。

(①交流ゾーン ②調理室 ③多目的ホール)